

沖縄・辺野古ボーリング調査・強行決定！事実上の 基地建設着工を止めよう！

1. 座り込みへの参加は…

那覇バスターミナルから沖縄バス77番系統に乗車、「辺野古」まで約2時間半で到着します。

2. 座り込みを続けるみなさんへのカンパは…

郵便局00960-6-77258「辺野古に基地を絶対つらせない大阪行動」へお願いします。

3. 基地建設中止の要請先は…

・小泉首相(内閣総理大臣官邸)

Fax:03-3581-3883 WEBサイト投稿ページ:

<http://www.kantei.go.jp/jp/forms/goiken.html>

・山中防衛施設庁長官(防衛施設庁)

E-mail:info@dfaa.jda.go.jp

・ハワード・H・ベーカー駐日大使(米大使館)

Fax:03-3505-1862 E-mail:mail-jpn@pd.state.gov

4. 大阪で一緒に行動して下さい。

●私たちは毎週土曜日の16時半～18時半まで、JR大阪駅周辺で街頭行動を行っています。

●9月18日(土)の18:30から

ミーティングを予定しています。

場所:大阪市梅田東学習ルーム「F」会議室

沖縄で開かれる市民集会に合わせて大阪でも行動します。日時:9月5日(日)14時～ 場所:大阪駅周辺



連絡先:osaka_henoko@hotmail.com

辺野古に基地を絶対つらせない大阪行動

現在、沖縄の名護市辺野古では、新たな米軍基地建設に反対して80代、90代のおばあ、おじいを中心に座り込みの闘いが続けられています。その日数は、100日を超え、日本政府、防衛施設局がいつ強行に基地建設を始めるかも知れない緊張感と疲労感の中で、座り込み参加者の体力の消耗も激しく、大変厳しい状況が続いています。しかし、その状況はここ大阪を始めとして、日本全国には全くといっていいほど伝わっていません。これは沖縄だけの問題なのでしょうか。

私たち、日本に住む多くの人々は、日米安保は必要だと言いながら、自分のまちに米軍基地を受け入れることになれば猛反対するでしょう。では、そのしわ寄せは一体どこにいつているのでしょうか。

沖縄の面積は、日本の0.6%であるにも関わらず、米軍基地の75%が押し付けられています。そして、米軍基地があるがゆえの犯罪、騒音被害、環境破壊、経済問題などに悩まされる生活を強いられているのです。

また、今一度戦争になれば、米軍基地のある沖縄は真っ先に攻撃の対象となるでしょう。その沖縄に、また新たな基地が作られようとしているのです。

このように、沖縄に対して差別的な状況を強いているのは、私たち日本に住む人間です。その中で、また新たな基地が作られていくのを黙って見ていることなど許されるはずがありません。今こそ、辺野古の基地建設問題を私たちの問題として受け止め、一緒に反対しましょう。

そして、基地も戦争もない平和な世界を築くための第一歩を共に歩み出しましょう。